

事業活動温暖化対策計画の実施状況に関する事項

2022 年度

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		東京都港区芝浦三丁目4番1号グランパークタワー							
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）		日本エア・リキード合同会社 代表取締役 ウィルジニー・キャヴァリ							
事業概要		製造業			化学工業				
該当する事業者要件		<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)							
		<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)							
		<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者							
計画期間		2020 年度 ～ 2024 年度							
事業活動温暖化対策計画に定めた措置の実施状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>冷暖房設定温度(夏季28℃、冬季20℃)そのほかエコオフィスの徹底(全事業所)</li> <li>LED照明設備の導入(本社、令和6年度中)</li> <li>太陽光発電設備の導入(A支店、令和5年度中)</li> </ul>							
温室効果ガスの排出の状況等	年度区分 ① 排出量 t-CO <sub>2</sub>	基準年度 (2019)年度	前年度 ( )年度	計画期間 (2020)年度 (2021)年度 (2022)年度 ( )年度 ( )年度				目標年度 (2024)年度	
		16,901		18,467	20,692	16,747		18,740	
	増減率 (基準年度比)	/							
		9.3 %		22.4 %	△ 0.9 %		%	%	
	温室効果ガス算定排出量等 削減 削減 削減 削減 削減	補完的 手段による 削減量	森林の整備及び保全 ( t-CO <sub>2</sub> )						
			再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給 ( t-CO <sub>2</sub> )						
			グリーン電力証書又はグリーン熱証書の購入 (t-CO <sub>2</sub> )						
			その他知事が認めるもの (t-CO <sub>2</sub> )						
			②合計(t-CO <sub>2</sub> )						
	① - ②		差引後排出量 ( t-CO <sub>2</sub> )		18,467	20,692	16,747		
			差引後増減率(基準年度比)		9.3 %	22.4 %	△ 0.9 %	%	%
	原単位算定排出量等	排出量 t-CO <sub>2</sub>	47196.000		50183.000	54997.000	45534.000		46028.000
増減率(基準年度比)			6.3 %	16.5 %	△ 3.5 %	%	%	△ 2.5 %	
差引後排出量 (t-CO <sub>2</sub> )									
差引後増減率(基準年度比)		%	%	%	%	%	%		
原単位の考え方		総生産量(千トン換算)							
計画の進捗又は達成の状況等		<ul style="list-style-type: none"> <li>客先使用量増加に伴い、基準年比電力量9.5%増となっているが、排出量(t-CO<sub>2</sub>)は1%減となっている。これは排出係数変更(0.395→0.296)に伴う減少によるものであり、2022年度7月度より運転設備の適正化を実施中 これにより、次年度の排出量排出量(t-CO<sub>2</sub>)の改善の見込み</li> <li>2022年7月より運転設備適正化を開始し、目標21%に対し、電力使用量6.7%の削減となっている。これは、2021年高効率製造設備(窒素発生装置)の導入によって、電力量の増加した事と、運転設備の適正化実施期間が短い為である。次年度、電力量削減見込み</li> </ul>							
特記事項		2023年 製造設備を新設予定(窒素発生装置)							

備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。

2 「計画期間」並びに「基準年度」「前年度」「目標年度」及びそれらの排出量は、提出済の事業活動温暖化対策計画書に一致させてください。

3 「計画の進捗又は達成の状況等」欄には、計画期間における排出量削減の進捗の状況及び計画終了時における事業活動温暖化対策計画書に掲げた温室効果ガスの排出の抑制の量に係る目標の達成又は未達成の理由等があれば、記入してください。

4 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。